



すずかけ

令和3年5月7日

No. 2 (第215号)



文責及び発行責任者：校長

中町北小学校のホームページ更新中 「中町北小」で検索

子どもたちの成長を願って

学校の周りの山々の新緑が鮮やかな頃となりました。「山笑う」季節は春から初夏へと進んでいます。

＜すずかけの感想より＞ ＊たくさんのご感想ありがとうございました

「新学期が始まり、毎日楽しそうに、今日の一番の出来事を話してくれます。今後とも笑顔で過ごせるように家庭でも見守っていきますので、どうかよろしくお願いします。」

「新しい学年になりましたが、まだまだコロナが広がっていてクラスターなど心配な中、対策も大変だと思いますが、出来る限りの対策をお願いします。早く普通の生活に戻れるといいですね。」

新学期になり、子どもたちは新しい学年で前向きにがんばっています。その一方で新型コロナウイルス感染拡大は大きな課題です。お寄せいただいたすずかけの感想は、多くの保護者の方の心の内と似ているのではないのでしょうか。

予定していた授業参観、引き渡し訓練、学級懇談会、PTA総会、家庭訪問、1年生歓迎遠足などが新型コロナウイルス感染拡大のために中止や変更となってしまいました。これらは、子どもたちや保護者の方々、そして教職員にとっても、有意義で貴重な機会であると考えます。それが減っていくことは、たいへん残念です。

行事をどうするかということについて、学校では話し合いを積み重ねました。その中で、「子どもたちや保護者、教職員の健康と命を守ること」を第一にするとともに「子どもたちに学びを保障し、成長するための教育活動を工夫しながらできるだけ進めていく」ことを大切にしようと考えています。

急な予定変更やお願いをすることもあると思いますが、子どもたちが学び続けるための貴重な時間を確保し、一人一人の成長へとつなげていくために、ご理解、ご協力をお願いします。

校長



交通安全教室 4 / 20 (火)

1・2年生 歩行訓練

3・4・5・6年生 自転車教室

たくさんの方々にお世話になりました。
自分の命を守ることを学びました。

一年生歓迎わんぱく班顔合わせ 4 / 22 (木)

一年生の自己紹介です

学校のリーダーとして六年生が活躍しました

歓迎遠足は中止になりましたが、みんなで一年生を温かく迎えることができました。
限られた中で、自分たちにできることを考えてがんばりました。

校門に立っていると「先生、ごみが落ちていました。」

と言って、二人の子がごみを拾ってきてくれました。

できそうで、できないこと

見のがしても何も言われないうらうこと

でも、自分の中できちんと判断してごみを拾ってきた二人の子が
いることがうれしい朝でした。



今年度からの鼓笛について

本校の伝統となっている鼓笛活動ですが、今年度から大きく変更を行うことといたしました。

例年10月にのぎく療育園を訪問し、鼓笛演奏を披露しておりました。しかしながら、昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、交流活動を中止し、鼓笛演奏も行いませんでした。本年度においても交流活動は難しいと予想されます。

そこで、この機会に、これからの中北鼓笛活動について校内で協議を重ねました。結論として、今年も含めて次年度以降も鼓笛活動（4～6年生）の発表の場は運動会のみとし、のぎく療育園での演奏は行わないこととしました。のぎく療育園の皆様も楽しみにされていたと思いますが、ご理解をいただきました。

変更の理由としては、運動会に目標を定めることで集中して活動に取り組めるとともに運動会以降は他の教育活動に注力できること、外国語活動の授業が増えたりプログラミング教育が導入されたりする中で教育課程を大きく見直す必要があること、感染拡大等の突発的なことが発生したときのために授業時数の確保が求められること等、様々なことが挙げられます。昨年の運動会では鼓笛の演奏がよかったとの感想を多数いただきましたが、限られた時間で精一杯児童ががんばったことの結果であったと考えます。

また、昨年からの鼓笛の衣装について、男子のズボン・女子のスカートから通常の体操ズボンに切り替えております。衣装が古くなっているものが多く、新調するかどうか職員で協議いたしました。その結果、衣装を新調するのではなく、体操服へと変更することにいたしました。

日常生活の中でスカートをはく女兒は少なくなっており、また、全国的には制服のユニバーサルデザイン化が進んでいる学校もあります。これからの時代、女兒の中にはスカートをはくことに抵抗を覚えることがあっても不思議ではありません。ユニフォームに憧れて鼓笛に入ったという児童もいるとは思いますが、どの児童にとっても抵抗の少ない体操服へと変更することといたしました。なお、上着につきましては、これまで同様にユニフォームを着て行います。

中北小の鼓笛活動は他校にない伝統的な取組であり、多くの地域の方が楽しみにされている活動であることは重々承知しておりますが、持続可能な学校運営を進めていくためにも、このような変更を行いました。ご理解をお願いいたします。



中町北小学校スクールプランの概要 ※スクールプランより抜粋

○確かな学力の育成

- ・「多可町学力向上3か年計画」「中北学力向上プラン」に基づく学力向上
- ・「中北スタンダード」をベースとした学びの環境整備
- ・児童の学習意欲を高め、「わかる・できる」授業の充実
- ・各教科等で言語活動の充実を図り、「ことばの力」を育成
- ・家庭学習（15分×学年）・家読の習慣化・朝の学習・がんばりタイムの充実

○豊かな心の育成

- ・「命と人権」の尊重を根底に、いじめ防止基本方針をもとに、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に向けた「学校生活相談シート」「中北っ子7つの約束アンケート」の実施
- ・「心の健康教育」の推進
- ・児童会の取組と連携し、「あいさつ運動」を推進するとともに、ていねいな言葉遣いができる子どもの育成
- ・本校の伝統および多可町の「人・もの・こと」を活用した「ふるさと愛」の醸成
- ・「考え、議論する道德」の授業を通した道德性の育成

○健やかな体の育成

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」、「基本的な生活習慣」の確立
- ・楽しみながら取り組む体力づくり

○信頼される開かれた学校づくり

- ・学校の情報をタイムリーに発信
- ・PDCAサイクルによる学校評価の活用
- ・地域人材の積極的な活用

○安全・安心な学校づくり

- ・学校防災体制の充実

○働きやすい職場環境づくり

- ・「学校の働き方改革」の推進による子どもと向き合う時間の確保

今年度も「人権尊重の心を持ち 仲間とともに 意欲的に学ぶ ふるさと大好き 中北っ子の育成」を学校目標とし、「素直さと感謝の心を持ち あいさつでつながる 中北っ子」を目指すことを児童像の柱として取り組んでまいります。

そして、「命と人権を大切にすること」を基盤に「いじめをしない、いじめを許さない、見逃さない」強い心を持った子どもを育てていくことを最重点項目とし、子どもたちにとって楽しい学校・学級づくりを進めていきたいと考えております。皆様方のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

紙面や学校の教育活動等についてのご意見、ご感想等をお寄せください。

なお、ご意見等は紙面に掲載させていただくことがありますのでご了承ください。

学校だより「すずかけ」5月7日号 返信欄 キリトリ

【ご意見・ご感想欄】 ※紙面への掲載が不可の場合は×をつけてください。（ ）